

学校番号	15	学 校 名	東部特別支援学校 伊豆高原分校	校 長 名	長崎 良夫
------	----	-------	--------------------	-------	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標「**学びあい わかりあい 高めあう人**」

- 【体】健康で生き生きと活動する力
 【知】確かな学力を身に付け、たくましく生きる力
 【徳】他の人を思いやり、物事に感動する豊かな心

教育目標の具現化に向けて、生徒の生命と健康を尊重し、個性の伸長と自己実現を目指す教育に努める。そのために、

- ①安心と信頼
 ②豊かな学び
 ③地域とのつながり
 ④働きがい

を学校づくりの4つの視点を掲げ、社会で生き生きと働き、互いを認め合い、豊かな感性をもって、生活の質を高められる学校づくりを目指す。

(2) 目標具現化の柱

- ＜守 る＞ 安全で安心な教育環境づくり
 ア 学校の安全体制の強化
 イ 人権を尊重した教育
- ＜育 む＞ 確かな学力や豊かに生きる力の育成
 ア 学びの充実
 イ キャリア教育の充実
 ウ 特別支援教育の専門性の向上
- ＜つなぐ＞ 学びと生活を支えるための連携づくり
 ア 校内における連携体制の構築と情報共有
 イ センター的取組の充実
 ウ 新しい「共生・共育」の取組
- ＜高める＞ わかりあい高めあう働きやすい環境
 ア 働きがいのある学校づくり
 イ 信頼される学校づくり

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）*「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
守 る	安全・安心で健康に過ごすための知識・技能の獲得	- 生徒理解、支援方法の職員研修 - 想定される緊急時に対応する職員研修の実施 - 防災マニュアルについて併設校と協力体制の構築 - 外部講師による防災研修 - 想定される災害、緊急時への対応方法の実施 - 感染症対策について、定期的にマニュアルを見直し	- 研修を生徒の指導、支援に役立てた。 - マニュアルで災害時自分の動きが把握できた。 - 災害時、どのように行動すればよいか理解できた生徒80%以上	自立活動課 保健安全課

様式第 1 号

	互いを認め合い人権を尊重した教育の推進	- 定期的に自分を振り返る機会の設定 - 外部講師を含む校内人権研修の実施	- 友達を思いやる行動ができた生徒 90%以上 - 生徒の人権を意識して指導、支援できた職員 100%	学年主任 生徒指導課
育む	生徒が主体的に学べる授業づくり	- 教員相互での授業参観機会の設定 - 外部の意見を聞く機会の設定 - ICT の活用事例の紹介	- 外部からの助言が役に立った - ICT 活用ができた教職員 90%以上	研修課 情報課
	自立と社会参加を目指した進路指導	- 生徒の希望、実態に即した実習先、進路先の選定 - キャリアパスポートの有効活用	家庭と連携しながら実習を実施、進路決定に向けた関係機関との連携ができた。	進路指導課
	自分の課題、目標に沿った研修	- センター研修、e ラーニング、外部講師による研修の実施 - ミニ研修の実施	研修を教育活動に活かした教職員 90%以上	研修課 自立活動課 管理職
つなぐ	途切れのない支援体制の構築	- 入学を希望する生徒の支援内容の共有 - 課題に応じ、情報の共有、校内ケース会議、外部機関を入れてのケース会議の実施 - 卒業後の生活を踏まえた関係機関との相談	- 対応方法について学年、学部で共有できた - ケース会議を踏まえ、今後の方向性が見えた	進路指導課 (Co) 学年主任 進路指導課
	情報共有と情報発信	- 要望に応じた対応、ノウハウの提供 - 必要に応じ、関係機関を紹介	支援内容を校内で共有、発信できた	進路指導課 (Co)
	併設校、地域との共生共育の実施	- これまでの実践を踏まえた共生共育の企画、実施 - 地域作業の再構成	今後の共生共育に期待が持てると答えた職員 90%以上	生徒指導課
高める	充実した業務ができる職場環境の構築	- 事務処理、教材研究の時間の確実な確保 - 会議の効率的な進行 - ICT の活用による公務のDX 化	- 事務処理の時間が十分確保できた職員 90%以上 - 生徒に向き合う時間が十分確保できた職員 90%以上 - Google ワークスペースを活用することで、公務の効率化が図れた	教務課 教務課 情報課
	不祥事根絶	- 不祥事根絶に向けた定期的な研修 - 終礼を使ってヒヤリハットの共有	- 不祥事を身近なこととして意識できた教職員 100% - ヒヤリハットを教育環境の見直しに活かした教職員 100%	管理職 管理職

(記入上の留意点)

1 (1) (2) の欄は、抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部にわかりやすいよう工夫して記載すること。